

報告事項3. 2025年度事業計画

1. 循環器学の研究及び振興を目的とする事業

(1)研究会・学術講演会の開催事業

1. 第90回日本循環器学会学術集会(JCS2025)

- ① 会期：2026年3月20日(金)～22日(日)
会長：野出 孝一(佐賀大学 医学部)
会場：福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡
テーマ：社会を拓く新循環器学 NEO-CARDIOLOGY TO EXPLORE SOCIETY
- プログラム
- ・一般演題
(口述, ポスター, Featured Research Session)
 - ・美甘レクチャー
 - ・真下記念講演
 - ・特別講演
 - ・Opening session
 - ・会長講演
 - ・代表理事講演
 - ・プレナリーセッション
 - ・シンポジウム
 - ・会長特別企画
 - ・ジョイントシンポジウム
(AHA, ESC, CSC, KSC, APSC, WHF)
 - ・ラウンドテーブルディスカッション
 - ・トピック
 - ・コントロールシー
 - ・ミート・ザ・エキスパート
 - ・モーニングレクチャー
 - ・Late Breaking Clinical Trials
 - ・Late Breaking Cohort Studies
 - ・循環器教育セッション
 - ・日本心臓財団佐藤賞記念講演
 - ・採択医師臨床研究助成, メディカルスタッフ研究助成, 海外留学助成報告
 - ・審査講演会
YIA Clinical research部門
YIA Basic research部門
国際留学生YIA
Asian Award
Asian Pacific Grants for Innovative Research Plans
コメディカル賞審査講演会
 - ・ガイドラインに学ぶ
 - ・各委員会セッション・セミナー
海外留学ネットワークングセミナー
国際名誉会員セッション
JIYCオリジナルセッション

アジア各団体代表によるセッション
禁煙推進セミナー

日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
基本法・5カ年計画検討委員会セッション

心不全療養指導士

ダイバーシティ推進委員会

・日本機械学会・日本循環器学会ジョイントシンポジウム

・日本循環器協会・日本循環器学会ジョイントシンポジウム

・倫理に関する講演会

・医療安全に関する講演会

・Circulation Journal Award Session

・CJ/EHJ Joint Session

・チーム医療セッション

(一般演題, 教育講演, シンポジウム)

・サテライトセミナー(モーニングセミナー, ランチョンセミナー, ファイアサイドセミナー)

・機器・書籍展示

② プレレジストレーション

学術集会参加者向けに, 参加登録, 教育セッション, ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行う。

③ 印刷物・製作物

第90回学術集会関連の印刷物・制作物として, プログラム集, 電子抄録アプリ, 教育セッションテキスト, 企業展示ガイドブック, ピンバッジ, 英文パンフレットを製作する。

④ My Abstracts

演題抄録・チーム医療セッション抄録・共催セミナー抄録を検索し, 必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB版とアプリ版で行う。

⑤ トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給する。支給金額は, アジア近隣諸国は5万円, その他の国は10万円とする。

⑥ 発表データプレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「発表データプレエントリーシステム」を公開する。

⑦ 託児室

学術集会会期中に参加者に対して英語対応可能な託児室を設置する。

- ⑧ 日本循環器学会カフェブースの出展
第89回学術集会の期間中、展示会場にて学会活動紹介のためのカフェブースを出展する。
- ⑨ 学会賞
以下の賞に関して、受賞者を決定する。
第51回日本心臓財団佐藤賞
第43回YIA Clinical research部門
第43回YIA Basic research部門
第34回CPIS賞
第24回国際留学生Young Investigators Award
第1回Asian Award
第4回Asian Pacific Grants for Innovative Research Plans
Circulation Journal Awards for Volume 89, 2025
Circulation Journal Best Reviewers Award for 2025
第21回心臓血管外科賞
第21回小児循環器賞
第19回女性研究者奨励賞
第15回コメディカル賞
日本心臓財団・日本循環器学会2025年「心臓」賞
JCS EARLY CAREER CHAMPIONSHIP

2. 第9回基礎研究フォーラム (JCS Council Forum on BCVR2025)

- ① 会期：2025年12月13日(土)～14日(日)
会長：的場 聖明(京都府立医科大学大学院 医学研究科 循環器内科学)
会場：京都市勧業館みやこめっせ
メインテーマ：Integrating Legacy and Innovation in Medical Science
- ② プログラム：作成中

3. 日本循環器学会地方会

- ① 第133回北海道地方会
会期：2025年6月28日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：紙谷 寛之(旭川医科大学 外科学講座 心臓大血管外科学分野)
- ② 第134回北海道地方会
会期：2025年11月22日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：古橋 真人(札幌医科大学 医学部 循環器・腎臓・代謝内 分泌内科学講座)

- ③ 第180回東北地方会
会期：2025年6月7日(土)
会場：秋田芸術劇場ミルハス、秋田市文化創造館(秋田市)
会長：渡邊 博之(秋田大学 循環器内科学講座)
- ④ 第181回東北地方会
会期：2025年12月6日(土)
会場：仙台サンプラザ(仙台市)
会長：安田 聡(東北大学大学院医学研究科循環器内科学分野)
- ⑤ 第276回関東甲信越地方会
会期：2025年6月14日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：井川 修(セントマーガレット病院 内科・循環器内科)
- ⑥ 第277回関東甲信越地方会
会期：2025年9月13日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：足利 貴志(武蔵野赤十字病院 循環器内科)
- ⑦ 第278回関東甲信越地方会
会期：2025年12月20日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：吉田 博(東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部)
- ⑧ 第279回関東甲信越地方会
会期：2026年2月14日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：井口 信雄(榊原記念病院附属クリニック)
- ⑨ 第165回東海地方会
会期：2025年6月7日(土)
会場：ウインクあいち(名古屋市)
会長：因田 恭也(名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
- ⑩ 第150回北陸地方会
会期：2025年6月28日(土)
会場：金沢大学医薬保健研究域医学類(金沢市)
会長：川尻 剛照(加賀市医療センター循環器内科)

循環器内科)

- ⑪ 第166回東海・第151回北陸合同地方会
会期：2025年10月25日(土)・26日(日)
会場：富山国際会議場(富山市)
会長：絹川弘一郎(富山大学大学院医学薬学研究部内科学第二(第二内科))
- ⑫ 第139回近畿地方会
会期：2025年7月12日(土)
会場：京都市勧業館みやこめっせ(京都市)
会長：尾野 亘(京都大学 循環器内科)
- ⑬ 第140回近畿地方会
会期：2025年12月20日(土)
会場：神戸国際会議場(神戸市)
会長：古川 裕(神戸市立医療センター中央市民病院)
- ⑭ 第127回中国地方会
会期：2025年12月13日(土)
会場：広島県医師会館/広島コンベンションホール(広島市)
会長：塩出 宣雄(広島市立広島市民病院 循環器内科)
- ⑮ 第127回四国地方会
会期：2025年12月6日(土)
会場：あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)(徳島市)
会長：添木 武(徳島大学大学院 循環器不整脈学)
- ⑯ 第126回日本循環器学会中国・四国合同地方会
会期：2025年6月28日(土)・29日(日)
会場：サンポートホール高松・かがわ国際会議場・展示場(高松市)
会長：三浦友二郎(高知大学医学部 外科学講座(心臓血管外科学))
- ⑰ 第138回九州地方会
会期：2025年6月28日(土)
会場：福岡国際会議場(福岡市)
会長：塩瀬 明(九州大学病院 心臓血管外科)
- ⑱ 第137回九州地方会
会期：2025年12月6日(土)
会場：アクロス福岡(福岡市)
会長：横井 宏佳(福岡山王病院)

4. 地方会抄録検索システム

地方会誌録オンライン検索システム「症例くん」に、過去の地方会データを登録する。

(2)学会学術誌、その他出版物の刊行事業

1. 学会学術誌

- ① 『Circulation Journal』刊行(2025年度刊行：Vol.89 No.5-Vol.90 No.4)
完全オンライン公開にて刊行事業を行う。「Focus on issue」として毎号にテーマを設け、それに沿ったReview Articleや原著論文を掲載。表紙には各号インパクトのある図と数本の論文ショートタイトルを載せ、読者の関心を惹くデザインとする。また本会作成ガイドラインの英語版や学会賞受賞者の紹介、学術集会レポートの掲載など、学会のFlagship Journalとしての役割を果たしていく。Circulation Journal Award, Best Reviewers Awardで優秀な論文や貢献度の高い査読者を表彰し、論文投稿や査読のモチベーションへ繋げる。
- ② 『Circulation Reports』刊行(2025年度刊行：Vol.7 No.4-Vol.8 No.3)
完全オンライン公開にて刊行事業を行う。Circulation Reports独自の論文種別であるStatement/Opinion, Protocol Paperをはじめとした新規投稿論文に加え、Circulation JournalのSister Journalとして、同誌で惜しくも掲載に至らなかったものの質の高い論文をTransferで受け付ける。また、Web of ScienceのESCIデータベースに収載が開始されており、本年度に初のImpact Factorスコア獲得を予定している。
- ③ 質の向上のための取り組み
Circulation JournalはImpact Factorの向上を目指すため国内外の著名な医師にReview Article執筆を依頼するとともに、Sister JournalのCirculation Reportsのみならず、日本循環器連合加盟学会の英文誌との連携を強化していく。また、ガイドライン部会と連携し本会作成ガイドラインの英語版を日本語版と可能な限り同時公開で掲載する。さらに学術集会の一般口述セッションで座長の評価が高い演題およびLate Breakingセッション採択演題の中から委員長を選択したものについて論文化と投稿を勧誘し、インパクトのある研究として論文掲載へ繋げていく。
Circulation Reportsは創刊後7年というスピードでのImpact Factor獲得を周知広報していく。合わせてPubMed掲載やCirculation Journalにはない独自の論文種

別と幅広いカバー領域、投稿から採択および公開までの査読や編集プロセスの迅速性といった特徴を活かし、これまで以上に質の高い論文の掲載を進めていく。また、安定した投稿数や掲載数の確保を目的として独自領域に焦点を当てメディカルスタッフを対象とした本数限定、掲載料減額の投稿促進キャンペーンを継続する。

両誌共通事項として、JCS Newsletterで毎月掲載論文リンク付きの目次一覧を会員へ配信する。さらに会員宛のニュースメールで次回Impact Factor推定値の推移や掲載論文リストを定期的に共有し、学会一丸となってImpact Factorの向上を目指す体制を強化する。各号刊行日には表紙や目次の情報を学会公式X(旧Twitter)で紹介する他、各論文の早期／本公開日にはサマリーとCentral FigureをDOIとともにXで案内し、論文へのアクセス数増加へと繋げる。Central Figureは査読対象に変更し、J-STAGEの抄録画面に掲載して各論文内容がより伝わりやすくインパクトのある公開方法とする。また、国際ジャーナルとしての立ち位置を確固たるものとするため、アジアや欧米の学会において両誌の認知度向上や連携強化のための活動を行い、海外からの投稿論文数向上を目指す。さらに、著者の投稿やEditorおよびReviewerの査読等においてハードルとなっているような点があれば解消できるよう柔軟に審議・対応していく。

④ 図表の二次使用に関する許諾

Circulation Journal, Circulation Reports 両誌掲載論文の図表に関し、営利目的の二次使用申請を受け付け、許諾料を申し付ける。非営利目的の使用については、CCライセンスに則り、出典元を明示し改変を行わないことを条件に、申請不要かつ無償で許諾する。

2. ガイドライン

① ガイドライン誌発刊

- ・ 2024-2025年度年度活動ガイドライン(2025年度発表)
 - 1) 感染性心内膜炎診療ガイドライン(班長：泉 知里)
 - 2) 血管炎症候群の診療ガイドライン(班長：中岡良和)
 - 3) 遺伝性不整脈の診療に関するガイドライン(班長：牧山 武)
- ・ 2025-2026年度年度活動ガイドライン(2026年度発表)
 - 1) 心筋症診療ガイドライン(班長：彦惣

俊吾／久保 亨)

- 2) 弁膜症治療のガイドライン(班長：泉 知里／新浪博士)
- 3) 慢性冠動脈症候群の診療ガイドライン(班長：中埜信太郎／大野貴之)

② 英訳版

- 1) 2025年改訂版肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症および肺高血圧症に関するガイドライン(班長：田村雄一)
- 2) 2025年改訂版心臓移植に関するガイドライン(班長：齋木佳克)
- 3) 2025年改訂版成人先天性心疾患診療ガイドライン(班長：山岸敬幸)
- 4) 感染性心内膜炎診療ガイドライン(班長：泉 知里)
- 5) 血管炎症候群の診療ガイドライン(班長：中岡良和)
- 6) 遺伝性不整脈の診療に関するガイドライン(班長：牧山 武)
- 7) 2025年ガイドラインフォーカスアップデート版 末梢動脈疾患(班長：重松邦広)
- 8) 2025年ガイドラインフォーカスアップデート版 学校心臓検診(班長：岩本眞理)

③ ガイドラインフォーカスアップデート発刊

- 1) 2026年フォーカスアップデート版 心疾患患者の妊娠・出産の適応、管理(班長：神谷千津子／桂木真司)

④ 図表の転載申請の許諾

営利目的の制作物への図表転載申請を受け付け、転載許諾料を申し付ける。(※但し医学書については無料とする。)

3. 循環器学用語集および用語の検討

① 『循環器学用語集(第4版)』の更新

本会ウェブサイトで開催中の用語集(第4版)およびこの英語版について、利用者から寄せられる意見や関連学会からの要望等を加味し随時検討、更新する。また循環器学用語に関する問い合わせに広く対応していく。

② 国際疾病分類(ICD)改訂に関わる対応

WHOおよび厚生労働省からの依頼を受け、「ICD-11」における循環器用語の和訳・確認作業やICD専門委員等への委員派遣を行う。

(3)研究助成事業

1. 基礎研究、医師臨床研究助成およびメディカルスタッフ(医師の除く医療専門職)研究助成

2016年12月16日に制定された脳卒中と循環器病克服5ヶ年計画に基づき、5戦略の1つとして

策定された人材育成を強化するために今後活躍が期待される若手基礎研究者最大5名に「基礎研究助成」、若手医師研究者最大3名に「医師臨床研究助成」とメディカルスタッフ最大3名に「メディカルスタッフ研究助成」を行う。

2. 海外留学助成

脳卒中と循環器病克服5カ年計画の5戦略の1つとして策定された「人材育成」を強化するため、海外留学する若手研究者の経済的支援を通じて、循環器領域の進歩に寄与する研究の奨励と、今後活躍される若手研究者の育成を目的として、2名の留学支援助成を行う。

3. 循環器AI研究助成

虚血性心疾患、心不全、不整脈、肺高血圧、成人先天性心疾患等の循環器疾患予防・診療・治療にかかるAI研究に対して最大3名への助成を行う。

(4)登録・解析事業

1. 臨床効果データベース

当会と自治医科大学との共同研究契約に基づき、本事業を推進する。

2. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

- ① データ収集を行う。
- ② DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業
JROAD-DPCの運用を行う。研修・研修関連施設のDPC病院を中心にDPCデータの収集を行う。参加施設の増加、調査項目の見直しも検討する。
- ③ 公募事業
JROAD, JROAD-DPCデータを利用する研究公募を行い、データ提供の対価を研究者より受領する。また産学連携研究の公募も行う。

3. ウツタインレジストリー

消防庁救急蘇生統計(ウツタイン調査)データの検証を行い、蘇生科学と救急心血管治療に対する研究を世界に向け、論文・発表を展開して行く。

4. 経皮的僧帽弁接合不全修復システムを用いた僧帽弁閉鎖不全に対する治療介入の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究(J-Mitra)

MitraClip, PASCAL Precisionシステム適正指針に沿って施設認定を行い、MitraClip, PASCAL Precisionシステム適正使用のためのレジストリー登録行う。

5. 経皮的左心耳閉鎖システムを用いた非弁膜症性心房細動患者の塞栓予防の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究(J-LAAO)

Watchman, Amulet適正指針に沿って施設認定を行い、Watchman, Amulet適正使用のためのレジストリー登録を行う。

6. ビンダケル全例登録レジストリー

トランスサイレチン型心アミロイドーシス症例に対するビンダケル適性投与のための施設要件、医師要件に関するステートメントに沿って、認定施設、実施医の審査を行い、レジストリー登録を行う。

7. J-BPAレジストリー

BPAの適応と実施に関するステートメントに沿って、認定施設、実施施設、実施医、指導医の基準内容は関連学会との合意を受け、レジストリー登録を行う。

8. 日本循環器研究コンソーシアム

ナショナルベースのゲノムデータバンクを構築し、将来的には会員や多くの研究者が広く多くのデータが利用でき、新しい治療法の開発につながったり、参加するすべての研究者自らの専門性を存分に発揮できるようなオープンな環境を構築していく。

(5)交流事業

1. 国内交流

- ① 「日本循環器連合」事業として、各学会とリーダーシップミーティングを開催し議論を行う。
- ② ICD-CRT研修制度協議会の運営を行う。
- ③ 循環器連合、日本循環器協会、日本機械学会や循環器系コメディカル関係学会とのジョイントシンポジウムを企画し、双方の学術集会で開催する。
- ④ 医療放射線防護連絡協議会に理事を派遣する。

2. 国際交流

- ① 海外学会(AHA, ESC, KSC)へブース出展(あるいはデジタルブース出展)を行う。
- ② 各海外団体(AHA, CSC, ESC, KSC, APSC, WHF)とのジョイントシンポジウムを企画・開催し、協議の機会を設け、関係を深める。
- ③ 国際留学生YIA及びAsian Pacific Grants for Innovative Research Plansの公募を行い、第90回学術集会で審査講演を行う。また新たに、アジア全体の臨床および基礎研究において優れた成果を挙げた演題に賞を

授与するAsian Awardを実施する。

- ④ JIYC (JCS International Young Community) が中心となり、海外留学ネットワークワーキングセミナーを企画し、留学を希望する若手医師の交流の場を設ける。そのほか、若手オリジナルセッション、ガイドライン症例セッションを企画する。
- ⑤ アジアからの学術集会参加者が増えるよう、各団体への広報を強化する。
- ⑥ アジア諸国から留学する若手医師を対象に助成事業を行う。公募を行い、書類審査・面接にて採択する。

2. 循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

(1) 循環器専門医事業

1. 専門医制度事業

- ① 第36回循環器専門医資格認定試験を実施する。
筆記試験日：2025年10月5日(日)を予定。
- ② 循環器専門医資格の更新審査を行う(対象2,621名予定)。
- ③ 循環器専門医研修施設・研修関連施設の認定審査を行う。

2. 新専門医制度に伴う事業

- ① 症例登録評価システム(循環器J-OSLER)の運営を行う。
- ② 研修指定施設の指定審査および指定施設の公表を行う。
- ③ 第4回循環器内科専門医資格認定試験を実施する。
筆記試験日：2025年10月5日(日)を予定。
- ④ 制度移行期の扱い、認定更新に関する制度の構築を行う。
- ⑤ 規定類の改定及び、日本専門医機構の承認を受けた場合、改定された規定類の運用への適用準備を行う。
- ⑥ 関連する領域と連動した循環器領域における制度の構築・運営の検討を行う。

(2) 循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. セミナー

- ① 臨床研究・統計教育プログラム
循環器医師が臨床研究をデザインするためのWeb教育プログラムを実施する。
- ② JCS-ITC(日本循環器学会国際トレーニングセンター)AHA心肺蘇生法コース
各講習会を全国で開催する。
 - ・AHA BLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLSプロバイダーコース

- ・AHA ACLS EPプロバイダーコース
- ・AHAハートセイバーCPR AEDコース
- ・AHAコアインストラクターコース
- ・AHA BLSインストラクターコース
- ・AHA ACLSインストラクターコース
- ・AHAハートセイバーインストラクターコース
- ・AHA ACLS EP インストラクターコース
- ・TCFコース

③ PCASセミナー

心肺停止後の適切な処置を習得するためのPCASセミナーを開催する。

④ 日本循環器学会チーム医療セミナー

これまで開催してきたコメディカルセミナーの名称を改め、チーム医療セミナーとしてメディカルプロフェッショナルを対象とした教育セミナーをオンラインにて開催する。

2. 教材

- ① 教育研修eラーニングの整備・運営
会員の知識・技能の向上を目的に、教育研修eラーニングのコンテンツを充実させる。
- ② 循環器専門医を志す研修医のための動画配信
医学生の循環器内科領域の理解を深め、また分かりやすく各分野を開設することで壁を取り払うことを目的とした「5分でわかる循環器ベストティーチャーシリーズ」の動画作成と配信を行う。
- ③ 臨床研究・統計教育プログラム
循環器医師が臨床デザインをすることに特化した教育プログラム「臨床研究・統計教育プログラム」について、配信を行う。
- ④ 心不全療養指導士認定試験eラーニング
心不全療養指導士認定試験のカリキュラムとガイドブック改訂第二版の内容に沿ってメディカルスタッフ向けのeラーニングを配信する。

3. 心不全療養指導士資格制度

第6回心不全療養指導士認定試験を実施する。
筆記試験日：2025年12月21日(日)を予定。

4. ダイバーシティ推進に関する事業

- ① 多様な世代、職種等が交流し、互いの理解、進歩を考える場を設け、発展していくための活動を行う。
- ② Travel Award for Women Cardiologists
本会の女性会員のキャリア支援を目的として、国際学会(ESC, AHA)において女性

- 筆頭者が発表する優秀演題を顕彰する。
- ③ 女性循環器医コンソーシアム (JCS-JJC) 部会
女性医師のリーダーシップ開発支援と就労継続支援、海外女性循環器医団体との連携を行う。
 - ④ 循環器ダイバーシティ研究奨励賞
我が国の循環器疾患における患者もしくは医療者の、性差や職種、社会経済学的なダイバーシティに関する研究の推進を目的とし、優秀論文を顕彰する。
 - ⑤ Next Generation部会
学生・研修医に対する循環器領域への勧誘活動や若手医師のネットワーク構築を実現すべく、支部への活動支援を行う。
 - ⑥ 特定看護師養成促進部会
働き方改革・タスクシェア実現に向けて、特定看護師・診療看護師の活躍を推進するための施策検討を行う。
 - ⑦ Webinar配信
JCS-JJC部会、Next Generation部において、Webinarを企画し、配信する。

3. 循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

(1)心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植に関する事業

- ① 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。
- ② 心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討及び、植込型VAD事後検証を行う。
- ③ 自施設内適応判定により移植された症例の事後検証を行う。
- ④ 心臓移植実施施設間の問題点、今後のあり方について協議を行う。
- ⑤ 医療従事者に対してのドナーアクションを行う。
- ⑥ 心臓移植申請症例データベースの構築に向けて検討を行う。
- ⑦ 心臓移植並びに心肺同時移植に係る審議(実施施設の認定審査を含む)を行う「心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会」の事務局運営を行う。

(2)広報・啓発事業

1. 市民向け

- ① 第90回学術集会市民公開講座(会長企画)
- ② 心肺蘇生法市民公開講座
学術集会、地方会で一般市民を対象とした心肺蘇生法の講習会を開催について検討する。

- ③ 「健康ハートの日」実行委員会主催で日本心臓財団、日本循環器協会、日本AED財団、本会の4団体共催のもと、一般市民向けの循環器病啓発活動を行う。
- ④ 禁煙啓発キャラクターを使用した禁煙啓発活動
各地の市民向けイベントに禁煙相談ブースを設置し、喫煙者への禁煙啓発を促す。また、本会の禁煙推進キャラクターのX(旧Twitter)を通じて本会の禁煙啓発活動を広く周知する。また、ライブ配信や動画投稿にて、視聴者に対し、多くの循環器にかかわる病気の原因や予防策を提示、気軽に予防啓発を学ぶ機会の場を作っていく活動を行う。
- ⑤ 禁煙教材の作成
禁煙パスポート、DVD、ポスターの制作、販売を行う。
- ⑥ 心筋梗塞予防のための市民啓発活動「STOP MIキャンペーン」を推進する。

2. 胸痛レジストリ

胸痛をはじめとした前駆症状とその性質を明らかにすることを目的とした胸痛レジストリの多施設研究を実施する。

3. 会員向け

- ① 学会Webサイトの運営
学会公式Webサイトにおいて、継続して学会からの情報発信を行う。また、リニューアルを実施しサイトの充実を図る。
- ② ニュースメールの配信
会員への情報サービスとして学会からの各種お知らせを「JCS Newsletter」として配信する。
- ③ 会員ポータルサイトの運営
会員が登録情報の参照や更新、年会費等の支払いを行う事ができるポータルサイトを運営する。

4. 保険診療等に関する事業

- ① 日本医師会から供給停止予定品目リストの確認依頼に対し、理事・保険診療委員で確認を行う。
- ② 製薬会社からの出荷調整・停止、供給停止の意見伺いについて臨床上問題がないか検討を行う。また、不採算品再算定の依頼について検討を行う。

(3)社会還元事業

1. 医療事故調査制度

2015年10月から開始された「医療事故調査制度」について、本会は病院での院内調査および医療

事故調査・支援センターのセンター調査への専門家の派遣を行うこととなっており、依頼があった場合は専門家を派遣する。

2. 鑑定人推薦依頼

最高裁判所からの鑑定人推薦依頼に専門家を派遣する。

3. 終末期症例登録について

救急医学会，集中治療医学会，循環器学会3学会合同で，終末期症例登録システムを構築する。

4. 終末期ガイドラインの改訂

救急医学会，緩和医療学会，集中治療医学会，循環器学会の4学会合同で終末期ガイドラインの改訂を行う。

4. 循環器領域に係る他団体業務の受託

日本循環器協会・禁煙推進学術ネットワーク・Asian Pacific Society of Cardiology (APSC) の3団体の事務局業務を受託しており，各団体の連携団体・中核団体として活動を推進する。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 循環器病克服5カ年計画事業

脳卒中と循環器病克服第二次5カ年計画で掲げている2026年迄の5年間で脳卒中・心血管病による死亡率の5%減少および健康寿命の延伸を目標を達成するために，脳卒中・心不全・血管病を重要3疾病と定め，「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民への啓発」「臨床・基礎研究の強化」の5戦略を通じて，我が国と本会の事業について実行する。

2. 大規模・中規模災害に対する対応

災害発生に伴い本会が行う対応を整理し関係団体との連携を踏まえた体制等を検討する。

3. 会員システム等の改修及び構築

諸手続きの利便性向上を目的とした会員ポータルサイトの画面構成を刷新する。安定稼働やセキュリティ向上の為適宜対応を行う。

4. 医師賠償責任保険

本会の医師賠償責任保険を運用する。会員は割引価格で保険に加入でき，本会には医師賠償責任保険料の5%，総合補償保険料の3%が収益となる。

5. FJCS制度

会員の学会活動への活発な参画により本会を活性化させるため，フェロー会員の認定を行う。また，国際FJCSの海外団体からの推薦による受付も継続する。

6. 会員への周知

会員への周知すべき事項をまとめて，会告2025 No.2～No.4・2026 No.1を発刊する。冊子での配布は有償とし，メール及びホームページにて会員に公開する。